

改善報告書

令和4年6月17日

1. 大学名：東京未来大学

2. 認証評価実施年度：平成／令和2年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：5-3

○理事会・評議員会の開催について、理事及び評議員が同席している状態で議案説明と審議が行われているため、寄附行為に定められている理事会・評議員会の役割を踏まえ、運営方法の見直し等を行うよう改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目5-3について

理事会、評議員会は同日、同一会場で開催するが、理事、評議員を入れ替えて、各対象者のみが出席して開催することとした。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目5-3の資料

・令和3年度理事会・評議員会議事録

## 改善報告書

令和4年6月17日

1. 大学名：東京未来大学

2. 認証評価実施年度：平成／令和2年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：6-3

○理事会・評議員会の開催方法 について改善を要する事項があり、内部質保証に関して機能性が十分とは言えないため、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

理事会・評議員会の開催方法については、【基準 5-3】により改善することとした。なお、内部質保証に関する機能性を担保するため、従来は委員会等の活動を中心とした自己点検評価書を作成していたが、令和3年度以降、認証評価基準の自己点検評価書を作成する方針に変更し、基準5は法人本部(総務部)が毎年度原稿を作成し、エビデンスとともに大学に提出することとした。すなわち、理事会・評議員会の運営を含めた自己点検・評価活動を毎年度大学と法人本部が連携して実施し、適宜理事会・評議員会、専門学校等常任理事会で活動状況の報告と検討・検証を行うことにより、内部質保証システムを再構築していくこととした。

5. エビデンス(根拠資料)一覧

- ・大学戦略会議議事録(令和3年2月)
- ・法人本部(総務部)への依頼メール
- ・令和4(2022)年度認証評価版 自己点検評価書